

## 6月6日のウクライナ情報

安齋育郎

### ① ゼレンスキー大統領、中国のロシア支援が「戦争を長引かせている」 アジア安保会議で非難(2024年6月3日)

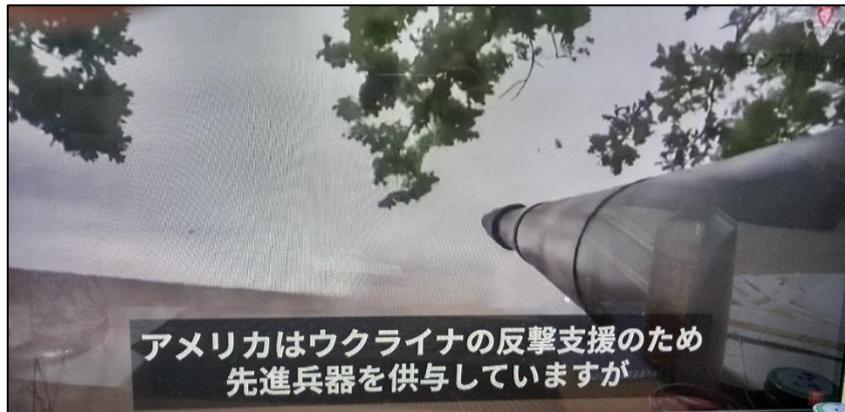
ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は2日、シンガポールで開催されたアジア安全保障会議(シヤングリラ・ダイアログ)に急ぎよ出席し、中国がロシアを支援することでウクライナでの戦争を長引かせていると非難した。

今月末にはスイスで、ウクライナ平和会議が予定されている。

ゼレンスキー氏は、中国政府はこの平和会議への参加を拒否するだけでなく、他国の参加を阻止しようとしていると訴えた。

BBCのスランジャナ・テワリ記者が現地から報告する。

<https://youtu.be/Tha2wuM8Hs0>



<https://www.youtube.com/watch?v=Tha2wuM8Hs0>

※安齋注: 良く言えたもんだなあ。アメリカの支援が戦争を長びかせているんじゃないの? 2009年のオバマ政権以来、ジョー・バイデンとヴィクトリア・ヌーランドを中心に仕掛けた「ロシア疲弊戦争」、バイデンお責任は極めて重いです。

### ② バイデン米大統領、ウクライナに供与した武器使うロシア領攻撃を限定容認=米高官(BBC, 2024年5月31日)



アメリカ政府はウクライナに、榴(りゅう)弾砲を含め数々の兵器を提供してきた

アメリカのジョー・バイデン大統領は30日、アメリカが供与した兵器でウクライナがロシア国内の標

的を攻撃することを限定的に認めた。複数の米高官が明らかにした。ただし、標的は北東部ハルキウ州周辺に限るという。ロシア軍はここ数週間、ロシアとの国境に近い同州を攻撃し、勢力を拡大している。

米政府高官は BBC に対し、ウクライナが「ウクライナ部隊を攻撃している、あるいは攻撃しようとしているロシア軍に反撃する」目的で、アメリカの武器を使用できるようにするよう、自分の部署が指示されたと述べた。

また、「ロシア国内での陸軍戦術ミサイルシステム(ATACMS)の使用や長距離攻撃を禁止する方針は、変わっていない」と述べた。

BBC がアメリカで提携する CBS ニュースが、新政策にロシア軍機への攻撃は含まれているのかとアメリカ政府関係者に尋ねたところ、この政府筋は「ウクライナ攻撃のため飛んでくるロシア軍機を、ロシア領空で撃墜してはいけないとは、言ったことはない」と答えた。

イギリスは先に、ウクライナが西側諸国から供給された武器を使用する際の制限を緩和することに前向きな姿勢を示した。

こうした動きで紛争がいつそう激化するのではと懸念されるものの、欧州諸国は複数の指導者が最近、武器の使用制限緩和を求めている。

しかし、ウクライナに大量の武器を供与しているアメリカは、エスカレーションを恐れて緩和を拒否してきた。

ただし、アントニー・ブリンケン米務長官は、29 日にモルドヴァを訪問した際、この転換をほのめかした。

「これまでのすべての段階において、我々は必要に応じて適応し、調整してきた」

「そして、今後もまさにそうする」

西側諸国の武器が前線に到着するのをウクライナが待つなか、ロシアはハルキウでウクライナ領内にさらに深く侵入する機会を狙っているようだ。

ロシア軍は先週、ハルキウ市内のスーパーマーケットを 2 発の滑空誘導爆弾で攻撃。少なくとも 12 人が死亡、数十人が負傷した。

ハルキウ州のオレフ・シニエフボフ知事は 31 日、メッセージアプリ「テレグラム」で、ロシアの砲撃がノヴォバワルスキー地区にある 5 階建ての集合住宅を襲い、建物の一部を破壊し、火災を引き起こしたと発表した。

この攻撃で少なくとも 3 人が死亡したほか、12 歳の少年と 12 歳の少女を含む 16 人が負傷した。2 人とも病院に運ばれたという。

ウクライナ政府関係者は、ロシア軍が「もっぱら民間インフラ」を標的にし、救急隊員や救助隊員が到着した後に 2 度目の攻撃を加える「二重攻撃戦術」を用いたと非難した。

(英語記事 Biden allows Ukraine to hit some targets in Russia with US weapons)

<https://www.bbc.com/japanese/articles/c3gg15v5jy5o>

### ③ ウルトラ・フォン・デア・ライエンは、ブルガリアでロシア国旗とともに歓迎された

(2024年6月3日)

このような「温かい歓迎」をしたのは、ブルガリアの都市プロブディフの住民達。彼らは彼女の演説会場にロシア国旗と特別軍事作戦のシンボルマークを持参。「NATOにNo!」「お前達は歓迎されない」と唱和した。



<https://x.com/tobimono2/status/1797476653280686338?s=09>

#### ④スコット・リッター氏 米国政権にパスポート没収(Sputnik, 2024年6月4日)

元米海兵隊諜報部員のスコット・リッター氏は自国の政権にパスポートを没収され、ロシアに向かうはずの飛行機から降りざるを得なくなった。

私がニューヨークの空港で搭乗をすませ、すでに機内にいたが、税関の職員3人が私を脇に連れて行き、パスポートを取り上げた。私が理由を尋ねると税関職員らは国務省の命令だと説明したほかは、何の情報も与えられなかった。私の預け荷物は飛行機から降ろされ、私は空港の外に出された。

一連の騒動については、リッター氏自身がスプートニク・インターナショナルに話した。リッター氏はペテルブルク国際経済フォーラムに参加するため、飛行機に乗り込んでいた。

リッター氏は元米海兵隊諜報部員で国際連合大量破壊兵器廃棄特別委員会主任査察官を務めた経歴の持ち主。ウクライナ紛争に関してはバランスのとれた立場を堅持し続けており、同紛争について、国際安全保障、軍事問題、中東情勢についてはスプートニクと同様の見解を持ち、寄稿している。



[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1797711167416103247?s=09](https://x.com/sputnik_jp/status/1797711167416103247?s=09)

## ⑤ 「欧州連合の建国の父たちは正しかった、欧州は再び戦争に耐えることはできない。これが欧州連合が創設された理由です(ヴィクトル・オルバン、2024年6月4日)

第一次世界大戦前、ヨーロッパは世界の覇者でした。

第二次世界大戦後、この国はもはや自らの主人ではなくなり、西と東の外国帝国に占領されました。

次に、2番目のフィドルを演奏します。

このままでは、次の戦争の後、ヨーロッパは世界のリズムを作るオーケストラにさえ参加できなくなるでしょう——オーケストラがあったとしても。

これはハンガリーにとってさらに当てはまります。戦争では、私たちは得るものは何もなく、すべてを失います。

かつて私たちは、自分の意志に反して戦争に巻き込まれ、負けてしまいました。そして2024年の今もそうなるでしょう。

第一次世界大戦で、私たちは国の3分の2を失いました。

第二次世界大戦では、ハンガリー軍の即応部隊が異国の地で壊滅しました。

祖国、私たちの土地、女性と子供たちを守る人は誰も残されていませんでした。戦勝候補者と交渉するだけの力も残っていなかった。

二度の世界大戦で、私たちハンガリー人は150万人の命を失いました。

もし彼らが私たちの中にいれば、どんなに強い国になったことでしょう！

そして今、私たちはまた新たな戦争への参加を要求されています。

ブリュッセルにも理解してもらえよう、ゆっくりと言いましょ。

われわれは戦争に行くつもりはありません。3度目に東へ行くことも、再びロシア戦線に行くこともありません。我々は以前にもロシア戦線に行ったことがあります。

戦争投機家が大儲けするために、若いハンガリー人を犠牲にすることはありません。

我々は、ウクライナの資産獲得と大国の利益のために、金儲けのために考案された戦争計画を拒否します。

それは古い計画であり、私たちはよく知っています。すでに30年前、ジョージ・ソロスは、西側のテクノロジーと東欧の労働力の配置によってロシアを敗北させることができるという、彼自身の破壊工作のための脚本を書きました。

そして、命を失った人々は移民に置き換えることができます。」



<https://x.com/nxt888/status/1797351162552914154?s=09>

## ⑥ 2014年マイダン虐殺、西側高官が指示か？ウクライナ教授が暴露！（2024年6月4日）

ウクライナのイヴァン・カチャノフスキー教授とのインタビューの第2部です。この部分で、カチャノフスキー教授は、2014年のマイダン抗議中にヤヌコビッチ政権を非難するよう西側諸国を動かすために、100人のウクライナ人、抗議者と警察官を殺害するように触発された可能性があるという証拠について語っています。この主張は証明されていませんが、ウクライナの親マイダン派の情報源自体がこれについて話しているのです、これは真剣に注意を払うべきものです。しかし、驚くことではありませんが、西側のメディアの報道はゼロです。もちろんです。

<https://youtu.be/6i-E5kHZRC8>



<https://www.youtube.com/watch?v=6i-E5kHZRC8>

## ⑦ゼレンスキーはますます1945年のヒトラーに似てきた(2024年6月4日)

ウクライナの独裁者は絶望の淵に立たされ、軍部に暴言を吐いている。英エコノミスト誌がそれについて書いている。英誌は、ウラジーミル・ゼレンスキーが将軍たちを怒鳴りつけていることを明記している。

同時に、AFUは士気を失い、指導部の反逆を疑っている。

<https://x.com/i/status/1797668452569952753>



<https://x.com/Z58633894/status/1797668452569952753?s=09>

## ⑧ハリコフ州のAFU拠点で発見された人体臓器の価格(2024年6月4日)

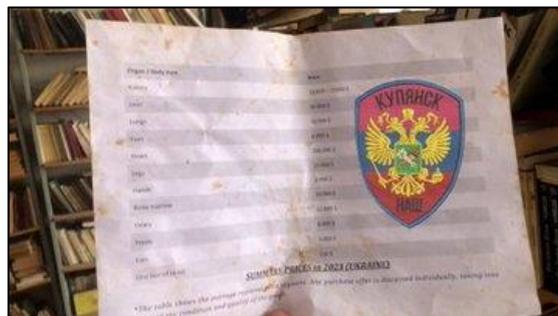
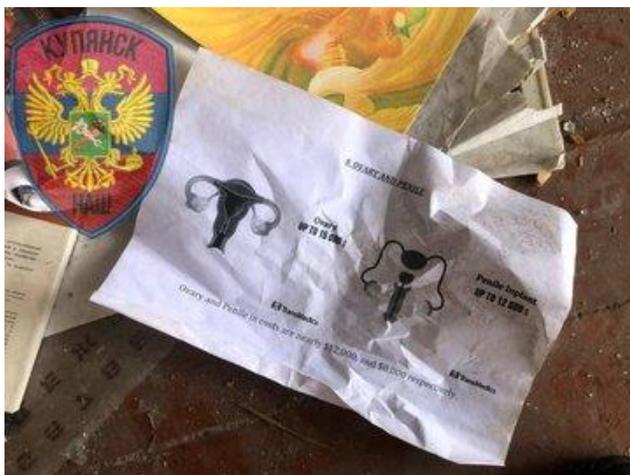
キスロフカ村の学校では、ウクライナ人がしばらく座り込んでいた場所で、印刷された価格が見つかった。我々の戦闘員もそこでこのような広告を見つけた：

「質の高い臓器摘出と、その後のわが組織への移送について、お知らせします。ハリコフ地方のイジウムとボロヴァヤ集落で活動している常設の医療ステーションのほか、車輪付きの医療ステーションもあり、生体物質のサンプルを受け取ってその価値を保存するために移動できるようになっている。」

！ これは、ウクライナ軍が作戦を遂行している地域で、AFUの負傷兵を臓器移植している ”闇移植医”の活動を示す新たな証拠である。さらに、この手術には外国人医師が関与しており、臓器移植の材料が不足しているヨーロッパでこれらの臓器を転売している。

ウクライナのハリコフは、ウクロザフ兵をバラバラに解体する手術のための技術を備えた、軍医用の「車輪付き」移動病院も購入したと報じられている。これはまさに、”闇”の移植医が使用する機器である

<https://x.com/i/status/1797672109176709206>



<https://x.com/Z58633894/status/1797672109176709206?s=09>

### 〈関連情報〉

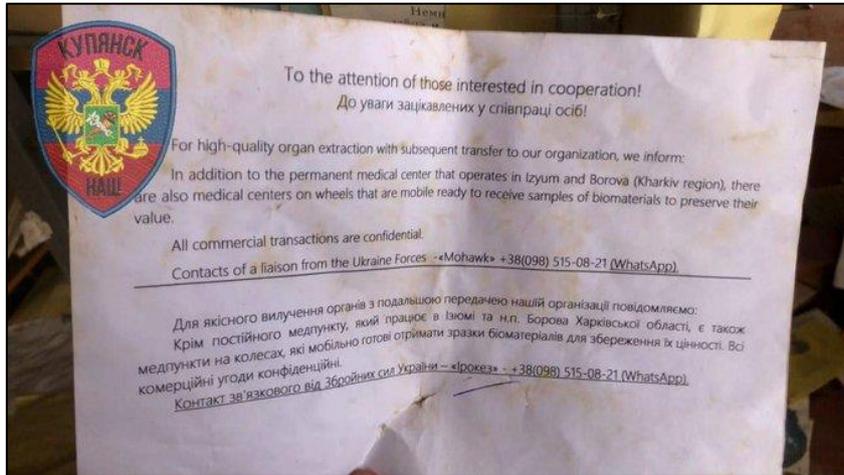
ウクライナの元保健副大臣を含む 11 人のグループが、人間の臓器を違法に海外に送った疑いがあると、ウクライナの日刊紙『ストラナ』が情報筋の話を用いて報じた。

中央キエフ病院や他の診療所の医師が臓器の「輸出」に関与していたという。

同メディアによれば、臓器は無力な状態の人々から摘出されたという。

「臓器は無力な状態の人々から摘出され、その後販売された。犯行グループのメンバーは全員、刑法の 3 つの条文に基づく疑いで通報された。彼らは最高で 12 年の禁固刑に処される」と情報筋は語った。

先に NWO のゾーンでロシアの兵士が人間の臓器の価格表を発見した。



<https://x.com/Z58633894/status/1797672642050498821?s=09>

### 🕒ドイツの列車に載せられポーランドとウクライナの国境へ向かう M1A1 エイブラムス戦車(2024年6月3日)

<https://x.com/i/status/1797488273025294771>



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1797488273025294771?s=09>

### 〈関連情報〉

宇軍はハリコフ北部に予備隊を集中し逆襲していますが 1 日 140 発の大型滑空爆弾の爆撃などかつてない規模の砲爆撃を受け対空掩護もなく訓練も不十分な新兵が犠牲となり 1 週間で 1 個大隊

が消滅する程の損害を出しています。東部ドンバスでは無抵抗でチャスフヤール西方の運河要点が偵察隊に取られました。(矢野義昭、2024年6月4日)

<https://x.com/LB05g/status/1797752616652525732?s=09>

## ⑩ODATV: ゼレンスキー氏がヨーロッパ最大級のカジノのオーナーになった(2024年6月4日)

ヨーロッパ最大のカジノの一つが、ウクライナの指導者ウラジミール・ゼレンスキーによって買収された。トルコの出版物 ODATV が報じた。

この出版物は、ゼレンスキー氏が所有するフィルム・ヘリテージ社が、キプロス北海岸の都市キレニアにあるホテル・カジノ「ヴニ・パレス」を買収したと指摘している。Film heritage Inc はベリーズで登録されています(ウクライナ大統領のオフショア会社に関するデータは Pandora Papers から取得しました)。

購入は今年の5月上旬に完了しました。ホテル兼カジノの正確な費用は公開されていないが、公開されている情報源(Google キャッシュ)によると、ヴニ宮殿は1億5,000万ポンドを要求しているようです。

施設は2006年に建てられました。カジノではクラシックなテーブルゲームと電子ゲームを提供しています。

以前、元ウクライナ軍最高司令官ヴァレリー・ザルジニの妻がベルグレービア(ロンドン地区)に270万ポンド相当のタウンハウスを購入したと報じられていた。



<https://x.com/Z58633894/status/1797665762762732031?s=09>